



希望の門出

校長 上原健治

正門近くに咲く水仙の花が、春風をうけ、気持ちよくなびく季節を迎えました。弥生三月を迎え、今年度の総まとめと次年度の準備が始まっています。三月は、子供たちが一年間の歩みを振り返り、自らの成長を確認し、次の学年に向けての心の準備や期待を抱く時期でもあります。

去る2月3日(火)、地域の15名の皆様が、一年生に、おはじき・はねつき・めんこ・かみひこうき・竹トンボ・こま・かんぼっくり・あやとり・お手玉・けんだまを紹介し一緒に遊んでいただきました。それぞれの遊び用具を丁寧に準備し、一年生のかわいい手に乗せてあげたり回したりしてくださる姿勢に、寒い体育館の中でしたが、温かさを感じました。ありがとうございました。

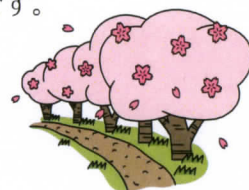
2月6日(金)、新一年生保護者会が行われました。①本校の概要。②練馬警察署員から交通安全のお話。③入学を前にして、給食・保健・生活面・学用品等の説明がありました。3月1日現在、新一年生入学児童予定数は97名になっています。4月6日(月)入学式を楽しみにしているところです。

2月26日(木)5校時、体育館に全校児童が集い、「6年生を送る会」が行われました。会場の体育館には、1年生から5年生が作成した十字をレインボーに並べ合間に鳩の形を織り交ぜた装飾が飾られた中、6年生が入場しました。在校生の出し物では、1年生合奏「みんなでうたおう」、2年生感謝の歌と踊り「おどるポンポコリン～向山バージョン」、3年生ダンス・呼びかけ「帰ってきた999～6年生へ～」、4年生合唱「スマイルアゲイン」、5年生寸劇「手紙～拝啓12の6年生へ～」と各学年の贈る言葉、6年生のお礼の言葉、合唱「With You Smile」合奏「君の瞳に恋している」を発表し合い、とても心に残る良い会になりました。会を中心になって担った5年生の姿勢には、最高学年への準備が着実に進んでいる様子が伝わってきました。

今年度の最終月、3月6日(金)には、14時45分から、体育館にて「旅立ちの会」が開かれます。6年生保護者の卒業対策委員の皆様が中心となって、小学校をまもなく巣立つ子供たちと共に、保護者・教職員でこの6年間の成長と今後の旅立ちを期待する会を開きます。

3月24日(火)には、1年生95名、2年生87名、3年生72名、4年生74名、5年生71名が修了式を迎えます。この一年間の成長をたたえ、新年度への希望をもたせていく式です。

3月25日(水)は6年生84名が卒業します。卒業生の希望の門出を全校で祝福します。この一年間、卒業生は、最高学年として、全ての教育活動を通して、中心的な役割を担い、その責任を見事に果たしました。充実した中学校生活を期待しています。



① 「平成26年度練馬区いじめ防止標語」表彰児童

◇入選 3年 神林颯太 「ほんとうは、いじめをしたくは、ないんじゃないの」

◇入選 4年 今野健斗 「なぜぼくを見てくれないのと さけぶぼく」

② 第64回東京都公立学校美術展覧会

◇出品 6年 長島りな 平面作品「窓から見た風景／ゆかいなわんこ」

③ 練馬区公立小中学校では、今年1月30日発行「教育だより」に記載されている通り、再来年度の平成28年度より三学期制に移行します。特に、来年度は再来年度の教育活動を視野に入れながら準備を進めていきます。保護者・地域の皆様には、二学期から三学期への移行動向につきまして、適宜、お知らせいたします。